



「市の花」答申



第3回市の花検討委員会

二月二十四日、第三回市の花検討委員会が行われました。検討の結果、チューリップ・桃の花・コスモスが市の花の候補に選定され、答申書が竹内市長に手渡されました。候補の選定理由は「チューリップ市の切り花出荷量が県内一位」「桃の花 江戸時代から市内で栽培され、果実としての出荷量も県内一位」「コスモス 転作田でも栽培され、景観が優れている」などです。答申を受け、竹内市長は「まちづくりへの活用などを考慮し、選定したいと思います」と話しました。

65歳以上の人の保険料 月額2,800円の予定

介護保険事業計画策定委員会が市長に答申

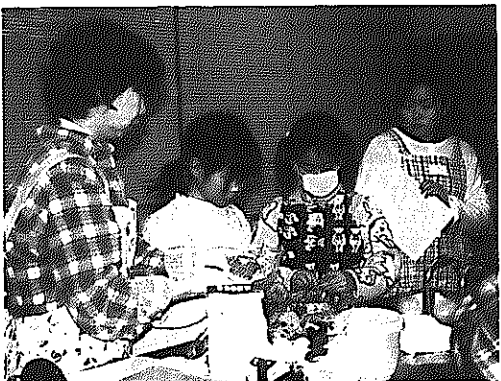


二月十六日、市役所で「第八回介護保険事業計画策定委員会」が開かれ、五十嵐委員長から竹内市長に事業計画の答申書が手渡されました。

同委員会は昨年二月から検討を重ね、介護保険事業計画・老人保健福祉計画を策定。答申書は、保険料の算定や寝たきり予防事業といった保健福祉施策の推進など、四月から始める介護保険の実施に向け、介護を必要とする人の立場になって検討してきた考えを盛り込んだものとなっています。また、利用者や高齢者への支援策として、市独自の利用者負担金制度なども取り入れています。なお、介護保険の事業計画は三年ごとに見直しされます。市としても介護を必要としなくても済むような予防事業・健康づくり活動を積極的に進めていきます。

まちの話題

ういそぎ、ういそぎ、ういそぎ



新飯田地区公民館にういそぎ教室

二月十五日、新飯田地区公民館で「にいだくッキング教室」が行われ、参加者十二人が「フルーツパウンドケーキ作り」に挑戦しました。この教室は、昨年続いて三回目。講師は、新飯田地区で菓子店を営む若林修吉さん（下町）です。お菓子作りは初めてという子どもとお母さんは、なかなかまとまらない生地に不安顔。若林さんに見てもらいながら、一生懸命かき混ぜていました。焼き上がり時間は五十分。ケーキのおいしそうなおいにおい、みんながオープンのをぞき込んでいました。

白銀の世界で交流

平成11年度 野外活動交歓のつどい



二月二十六日から二十七日にかけて、市青年団体連絡協議会と青年教育センター主催の「野外活動交歓のつどい」が、妙高池の平スキー場で行われました。これは「ウインタースポーツを通して仲間づくりを図ろう」と、昨年の参加者が主体となり実行委員会を結成。企画・運営を行ったものです。参加した二十六人は、さまざまなレクリエーションや昼食の豚汁作りなど、二日間の野外活動を大いに楽しめました。もちろん、スキーとスノーボードも満喫してきました。



白根学習館(LASPEL)情報

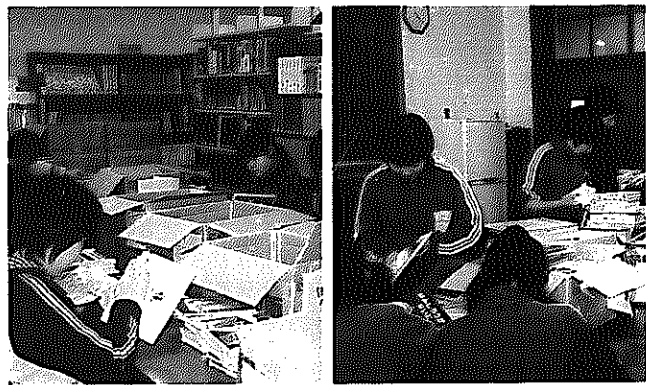
新たな文化を創出する殿堂 ラスベックホール

白根学習館には、市民の文化活動の場として、多目的ホールが出来ます。ステージ部分は広さ二百三十七平方メートル。客席部分は四百八十三平方メートルで、五百席あります。この客席は収納式になっているので、ワンフロアとして展示会やレクリエーションなどに利用することもできます。また、ホール内には防音設備と音響効果装置が設けられます。ステージを使ってコンサートや演劇、各種発表会を催すことができるほか、大型スクリーンでの映写会を楽しむこともできます。

ホール上部の一面には、子ども連れでも安心して観覧できるように、親子室も設けます。この部屋は、ホールに面した部分がガラス張り、ホール全体を見渡せる設計になっています。

手づくりイベントを企画中

六月には、ホールをはじめとした学習館のいろいろな施設を使って、市民の手づくりによるオープニングイベントが開催される予定。この機会に、いち早く学習館を利用してみたいかががです。



小・中学生が ボランティア参加 現在オープンに向け準備中の図書館では、近隣の白根小学校、白根第一中学校の児童・生徒に本の装備を手伝ってもらいました(写真)。放課後を利用して、小学校からは六年生、中学校からは三年生が移動図書館用に準備している本を一生懸命装備してくれました。

楽しい歌や、踊りを堪能

第4回新春お楽しみ演奏会



二月六日、下八枚・上浦・戸石・新生町の自治会でつくられる「白連コミュニティ協議会」主催の「新春お楽しみ演奏会」が、旧戸石小学校体育館で行われました。この催しは、冬の行事として地域の人に楽しんでもらおうと行われているもので、今年で四回目を迎えます。演奏会では地元舞踊会の踊りと、地元や小須戸町の一座やプロの演歌歌手の歌が、次々と披露されました。会場いっぱい集まった人たちは、知人も出演しているステージを見つめ、盛んに拍手を送っていました。

消火器片手に、鎮火お見事

白根地区消防本部が 初期消火協力者に感謝状を贈呈



写真右から藤田さん、大竹さん

白井地区で起きた住宅火災に際して功労のあった、藤田寅雄さん(下八枚)と大竹稔明さん(白井)に、二月二十三日、白根地域消防本部から感謝状が贈られました。火事は二月九日の午後五時ころ発生。出火宅に居合わせた藤田さんが火事に気付く、前に住む大竹さんに応援を求めました。大竹さんは、自宅の消火器を持って現場に駆け付け、消火。被害を最小限に食い止めた。出火原因は、コンロの火がこたつの掛け布団に燃え移ったことによるものでした。